

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: 令和 5年 2月 28日

事業所名: 社会福祉法人 青鳥会 ほほえみ

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			十分な訓練室を確保していますが、クールダウンするための空間を設定する必要があると感じています。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			こどもの人数に対して十分な支援者を配置しています。(こども5~8名に対して3名)個々の発達や障がい程度に応じて、個別に対応させて頂いてきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		座席位置やパーテーションを活用して集中しやすい環境を整えています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日の清掃・消毒を実施し衛生面に気を付けています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		毎月業務改善委員会を行っています。職員間で意見を出し合い、よりよい支援の提供や職場環境となるように努めています。	毎月業務改善委員会を行っています。職員間で意見を出し合い、よりよい支援の提供や職場環境となるように努めています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページ公表後にご家族にお便り、連絡しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		令和5年度実施予定です。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に外部研修への参加や内部研修を取り組んでいます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		半年に1回または、必要に応じて見直しをしています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		遠城寺・乳幼児発達検査を取り入れています。	法人内独自のアセスメント(5領域を含めた)を使用しています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			項目の適切な選択は、面談等でご家族と確認しながら行っています。ただ、ガイドラインの説明に関しては、十分に行えていない状況ですので、今後の課題として捉えています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		担当者やチームで確認しています。定期的に支援をチェックするようにしています。	総合的な発達支援を行うなかで、個別の「支援目標」が達成できるように心掛けています。その都度、担当者チームで支援目標を確認していく必要があると感じています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		支援者が総合的な発達支援が行えるように計画しています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		計画的に活動の中で、発達を促せるよう計画しています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			小集団によるプログラムが主ですが、発達や障がい程度に応じて個別支援を計画させていただきます。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝礼にてミーティングを行っています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			基本的に個人での振り返りが主になりますが、活動の内容によっては、チームで振り返りをしています。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6ヶ月に一度、必要に応じて見直しを行っています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			主に法人内の相談支援の代表者が参画していますが、支援職員の参加も今後検討していきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			地域の保健センターと連携を行っていますが、初回時のみが多いです。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			医療的ケアが必要なお子さんの受入れは、現在行っていません。肢体不自由児のお子さんを受入れる際には、ご家族より医療に関する情報を聞き取っていますが、必要に応じて、医療との連携を積極的に行う必要があると感じています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			医療的ケアが必要なお子さんの受入れは、現在行っていませんが、肢体不自由児のお子さんを支援する際には、医療や専門職(看護師・PT)と連携を図っていきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		年中・年長児のご家族の意向や保育所等での様子などを確認しながら、三者で情報共有を図っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			就学先への情報提供を毎年行っています。限られた時間での引継ぎではありますが、今後も移行支援シートをもとに、相互理解を図っていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		年に5回程、医療機関の専門職から助言を頂いたり、より良い支援を行えるように発達に関する研修に職員が参加しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			並行通園しているお子さんが殆どです。それぞれの保育所等から通っていることもあり、交流する場と考えております。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		法人内の代表者が参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		ご家族と積極的にコミュニケーションをとるように心掛けています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			令和4年度から、法人として取り組んでいます。開催時期や周知が徹底されておらず、今後の課題として考えています。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に重要事項説明書を説明しています。また、その都度ご不明な点などあれば、迅速に対応するように心掛けています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			親子参加型のイベントを年3回開催しています。並行通園先の行事と極力重なることがないように、配慮していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		職員間の報連相をしっかりと行い、迅速に対応できるように心掛けています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月お便りや活動予定表を配布しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報同意書等をもとに、今後も適切に取扱いさせていただきます。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		コロナ禍の状況で開催を控えていましたが、感染状況や感染対策を施しながら、検討させていただきます。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			マニュアルの作成はしていますが、ご家族への説明が不十分だと感じています。書面にて、配布や説明を検討していきます。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月避難訓練を計画的に行っています。(火災・地震・風水害・防犯)
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		事前にご家族に聞き取りをさせて頂いています。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			現在、食物アレルギーがある方はいません。食物アレルギーがある方で、食事等提供する際には、指示書に基づいて対応させていただきます。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		職員会にてヒヤリハットの対策の周知を行っています。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		毎月、人権に関するの振り返りを行っています。	虐待防止の取り組みの一環として、毎月自身の支援を振り返り、月一度の委員会にて話し合った報告をしています。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			現在、身体拘束をしているお子さんはいません。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)